

目 次

第2版はしがき

凡 例

1 章 序 論 I

- 1 民法典の編別と民法総則の意義 I
- 2 民法総則の規定の修正 3
- 3 学習上のアドバイス 4

2 章 人 9

- 1 自 然 人 9
- 2 法 人 27
- 3 住所・不在者・失踪宣告 40

3 章 物 44

- 1 物 と は 44
- 2 物の種類・区別 46

4 章 法律行為 50

- 1 法律行為の意義と種類 50
- 2 法律行為の有効性 56

5章 意思表示…………… 70

- 1 意思表示の意義と構造 70
- 2 心裡留保 83
- 3 通謀虚偽表示 93
- 4 錯 誤 99
- 5 詐欺・強迫 105
- 6 消費者契約法 112
- 7 意思表示に関するその他の規定 115

6章 無効と取消し…………… 119

- 1 無効原因と取消原因の確認 119
- 2 無 効 120
- 3 取 消 し 122
- 4 無効または取消後の原状回復 124

7章 代 理…………… 126

- 1 代理とは 126
- 2 代 理 権 128
- 3 代理行為 130
- 4 無権代理 134
- 5 表見代理 140
- 6 利益相反行為と代理権の濫用 149

8章 時 効 153

- 1 時効とは 153
- 2 取得時効 157
- 3 消滅時効 161
- 4 時効の完成猶予・更新 167
- 5 時効の援用・時効利益の放棄 172

9章 民法の基本原則 176

- 1 私権に関する基本原則 176
- 2 解釈の基準 179
- 3 民法と近代社会の価値観 181

索 引